



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社サクラ

上場取引所 東

コード番号 6303 URL <http://www.sasakura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹倉 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 中野 朋宏

TEL 06-6473-2131

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,017	19.6	421	38.4	140	80.1	59	
2019年3月期第2四半期	5,030	1.6	684	246.7	704	170.9	1,148	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 60百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 323百万円 ( 30.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	19.47	
2019年3月期第2四半期	374.75	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	29,039	20,862	71.7
2019年3月期	31,733	21,117	66.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 20,818百万円 2019年3月期 21,059百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		65.00	65.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	52.6	500	42.0	100	86.8	50	96.2	16.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	3,113,800 株	2019年3月期	3,113,800 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	47,247 株	2019年3月期	48,839 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	3,065,543 株	2019年3月期2Q	3,065,027 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想につきましては、現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報の(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期という）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調が続きましたが、米中の貿易摩擦の長期化懸念や英国のEU離脱問題、日韓関係の悪化、中国の経済減速、中東・北朝鮮の地政学的リスク等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、2019年度を初年度とする3カ年中期経営計画「Productivity Innovation 21—業務の改革をもって生産性を向上させ、お客様の期待に応える企業を目指す」を本年4月にスタートさせ、諸施策の取り組みを開始したところであります。一方、当第2四半期における受注高は、蒸発濃縮装置の受注が少なかったことから50億69百万円（前年同期比19.0%減）となりましたが、売上高は60億17百万円（同19.6%増）となり、海水淡水化プラントの大口売上を前期計上したことにより、受注残高は95億21百万円（同60.6%減）にとどまりました。

損益面につきましては、前年同期には当時建設途中であったサウジアラビア向け海水淡水化プラントの受注損失引当金の一部取崩しが利益を押し上げたものの、当第2四半期にはそのような押し上げはなく、営業利益は4億21百万円（同38.4%減）となりました。経常利益は為替変動の影響を受け、為替差損を2億52百万円計上したことから1億40百万円（同80.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純損益は繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の計上もあり59百万円の損失（前年同期は11億48百万円の利益）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 船舶用機器事業

世界の造船受注量は最悪期を脱したものの、当期における受注高は10億87百万円（前年同期比17.6%減）と減少し、まだ受注の本格回復の兆しがみられず厳しい状況が続いています。売上高は12億97百万円（同4.6%増）となり、営業利益は1億61百万円（同8.7%増）、受注残高は9億92百万円（同22.7%減）となりました。

#### ② 陸上用機器事業

空冷式熱交換器の受注は減少したものの、久しく受注がなかったエネルギー回収熱交換器の受注ができたことから、受注高は前期並みの11億85百万円となり、売上高は14億51百万円（同2.9%減）となり、営業利益は1億19百万円（同17.5%減）、受注残高は43億27百万円（同13.5%増）となりました。

#### ③ 水処理装置事業

海水淡水化装置、蒸発濃縮装置ともに受注が振るわず、受注高は14億5百万円（同36.8%減）となった一方、売上高は16億36百万円（同39.0%増）となりました。営業損益は前年同期のような受注損失引当金の一部取崩しがなかったため1百万円の損失（前年同期は3億51百万円の利益）、受注残高は28億65百万円（前年同期比83.4%減）となりました。

#### ④ 消音冷熱装置事業

首都圏向け騒音防止装置の受注が前期と比べ減少し、受注高は13億84百万円（同9.2%減）となりました。また、売上高は前期に受注した首都圏データセンター向け騒音防止装置の売上や放射空調システムの大口売上計上があったことから16億24百万円（同46.4%増）となり営業利益は1億35百万円（同319.5%増）、受注残高は13億36百万円（同26.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は290億39百万円となり、前期末と比べて26億93百万円減少しました。その主な内訳は製品が5億39百万円増加した一方、現金及び預金が2億93百万円、受取手形及び売掛金が26億85百万円減少したことによるものです。

負債合計は81億76百万円となり、前期末と比べて24億39百万円減少しました。その主な内訳は支払手形及び買掛金が20億32百万円、未払法人税等が1億54百万円、受注損失引当金が1億10百万円減少したことによるものです。

純資産合計は208億62百万円となり、前期末と比べて2億54百万円減少しました。その主な内訳はその他有価証券評価差額金が33百万円増加した一方、利益剰余金が2億58百万円、為替換算調整勘定が14百万円減少したことによるものです。

また、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末に比べ2億93百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には33億57百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少や仕入債務の減少等により、資金は2億31百万円の増加(前年同期は29億62百万円の減少)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出や投資有価証券の取得による支出等により、資金は70百万円の減少(前年同期は8億18百万円の増加)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出や配当金の支払額等により、資金は4億32百万円の減少(前年同期は15億81百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年8月8日に公表いたしました予想値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,651	3,357
受取手形及び売掛金	20,088	17,402
有価証券	100	100
製品	2	541
仕掛品	1,733	1,630
原材料及び貯蔵品	524	546
前渡金	244	162
前払費用	67	133
その他	147	112
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	26,552	23,980
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	5,516	5,542
減価償却累計額	△4,358	△4,391
建物及び構築物 (純額)	1,158	1,150
機械装置及び運搬具	2,727	2,739
減価償却累計額	△2,490	△2,518
機械装置及び運搬具 (純額)	237	221
工具、器具及び備品	901	910
減価償却累計額	△880	△884
工具、器具及び備品 (純額)	20	25
土地	1,736	1,732
リース資産	107	107
減価償却累計額	△27	△36
リース資産 (純額)	79	70
建設仮勘定	1	1
有形固定資産合計	3,234	3,201
<b>無形固定資産</b>		
リース資産	67	62
のれん	10	-
その他	6	7
無形固定資産合計	84	69
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,563	1,619
長期前払費用	6	2
繰延税金資産	228	103
その他	84	85
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	1,861	1,788
固定資産合計	5,180	5,059
資産合計	31,733	29,039

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,139	1,107
1年内返済予定の長期借入金	-	755
リース債務	30	30
未払費用	178	189
未払法人税等	259	105
前受金	303	487
賞与引当金	323	283
役員賞与引当金	14	1
工事補償等引当金	288	361
受注損失引当金	135	25
その他	607	510
流動負債合計	5,281	3,857
固定負債		
長期借入金	3,718	2,645
リース債務	117	101
繰延税金負債	-	9
退職給付に係る負債	1,379	1,441
役員退職慰労引当金	12	14
長期未払金	107	107
固定負債合計	5,334	4,319
負債合計	10,615	8,176
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,220	2,220
資本剰余金	1,455	1,454
利益剰余金	17,156	16,897
自己株式	△153	△148
株主資本合計	20,678	20,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	406	439
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	△32	△47
退職給付に係る調整累計額	8	3
その他の包括利益累計額合計	380	395
非支配株主持分	58	44
純資産合計	21,117	20,862
負債純資産合計	31,733	29,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,030	6,017
売上原価	3,105	4,350
売上総利益	1,925	1,666
販売費及び一般管理費		
運賃	99	112
販売手数料	50	45
広告宣伝費	12	7
貸倒引当金繰入額	△0	0
役員報酬	64	65
従業員給料及び手当	347	376
賞与引当金繰入額	85	109
役員賞与引当金繰入額	1	1
福利厚生費	109	97
退職給付費用	36	60
役員退職慰労引当金繰入額	2	2
株式報酬費用	-	3
旅費及び交通費	53	46
賃借料	49	47
工事補償等引当金繰入額	32	14
研究開発費	39	32
減価償却費	25	21
のれん償却額	10	10
その他	220	190
販売費及び一般管理費合計	1,240	1,245
営業利益	684	421
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	45	20
為替差益	5	-
その他	9	11
営業外収益合計	65	39
営業外費用		
支払利息	40	52
為替差損	-	252
その他	4	15
営業外費用合計	45	320
経常利益	704	140
特別利益		
投資有価証券売却益	705	-
特別利益合計	705	-
特別損失		
固定資産除却損	7	-
災害による損失	16	-
特別損失合計	23	-
税金等調整前四半期純利益	1,386	140
法人税、住民税及び事業税	399	94
法人税等調整額	△149	118
法人税等合計	250	213
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,135	△72
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,148	△59



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,135	△72
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△655	33
繰延ヘッジ損益	△8	1
為替換算調整勘定	△149	△16
退職給付に係る調整額	1	△5
その他の包括利益合計	△812	12
四半期包括利益	323	△60
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337	△44
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	△15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,386	140
減価償却費	95	92
のれん償却額	10	10
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	△40
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△12
工事補償等引当金の増減額 (△は減少)	△2	73
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△459	△110
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22	59
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△16	2
受取利息及び受取配当金	△50	△28
支払利息	40	52
為替差損益 (△は益)	54	7
投資有価証券売却損益 (△は益)	△705	-
固定資産除売却損益 (△は益)	7	-
売上債権の増減額 (△は増加)	794	2,486
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,470	△466
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,210	△1,655
その他	△309	△124
小計	△2,801	486
利息及び配当金の受取額	53	32
利息の支払額	△42	△53
法人税等の支払額	△171	△234
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,962	231
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	100	-
有形固定資産の取得による支出	△44	△65
投資有価証券の売却による収入	866	-
投資有価証券の取得による支出	△105	△4
その他	2	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	818	△70
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	-	△218
長期借入れによる収入	1,700	-
リース債務の返済による支出	△12	△15
配当金の支払額	△107	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,581	△432
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△578	△293
現金及び現金同等物の期首残高	3,871	3,651
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	141	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,434	3,357

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	船舶用 機器事業	陸上用 機器事業	水処理 装置事業	消音冷熱 装置事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,240	1,494	1,177	1,109	5,022	8	5,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,240	1,494	1,177	1,109	5,022	8	5,030
セグメント利益	149	145	351	32	678	5	684

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	船舶用 機器事業	陸上用 機器事業	水処理 装置事業	消音冷熱 装置事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,297	1,451	1,636	1,624	6,010	7	6,017
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,297	1,451	1,636	1,624	6,010	7	6,017
セグメント利益 又は損失 (△)	161	119	△1	135	416	4	421

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。